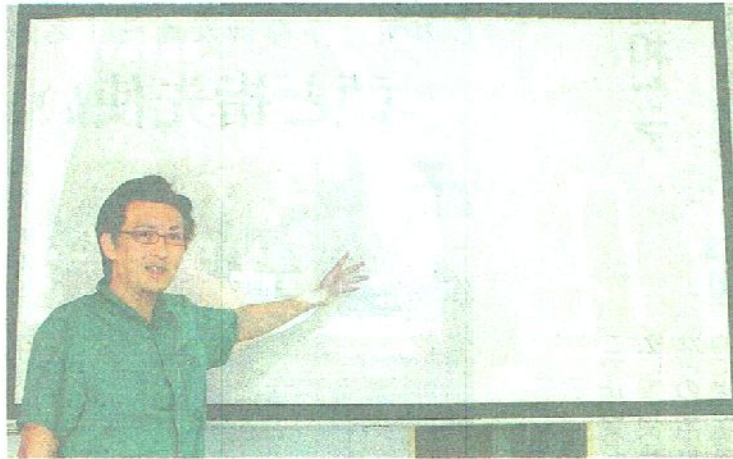


かつて松竹キネマ撮影所があり、近代映画の発展に大きく寄与した蒲田で、市民参加型の映画「未来シャッター」が完成した。映画で地域を盛り上げようと大田区東蒲田に拠点を置くNPO法人「ワップフィルム」が、地元の企業や大学、寺社などの協力を得て作った。社会に順応できずにいる若者たちが主人公。NPO法人理事長で監督を務めた高橋和勸さん(48)は「未来を自分たちでつくり、人生の主導権を取り戻す若者を増やしたい」との思いを込めた。(杉戸祐子)

50団体以上協力「未来シャッター」

「オール蒲田」



都心

諸願祈願

鹿野山神野寺

TEL 042303(37)22201

都内の天気

都心	きょう	あす
都心部		
府中		
八王子		

きょうの予想 (区内)  
 降水確率 朝30% 昼30% 晩30%  
 気温 最高25度 最低20度  
 南の風後北の風

映画が完成

完成した映画のワンシーンを紹介する高橋和勸さん(大田区)で、映画「未来シャッター」のワンシーン(映画「未来シャッター」ネットワークプロジェクト提供)



ワップフィルムは映画の街・蒲田の再生も視野に二〇一一年に発足した。映画製作プロジェクトは二二年に中心となるメンバー約二十人が集まり、脚本のアイデアを出し合う中で「何らかの組織や地域、文化に所属できない人にスポットを当てるコンセプトが決まった」。メインキャストを公募する一方、プロジェクトに賛同する企業や大学、寺社などの輪を区外にも広げ、計五十団体以上からロケ地提供や特別出演、協賛などの協力を得た。

主人公は心を閉ざしたOL未希、職業を転々とする篤志、外国人留学生アントニオの若者三人。現代社会を生きづらく感じている若者が、自分の居場所を求めて行動を起こしたとき、社

19日に羽田空港内で試写会

会とつながり始めるというストーリーだ。

高橋さんは「受動的な人が増えると社会のアクションが止まってしまふ。それが人生の主導権を取り戻し、人と連携することで成長や進化が起こる」と説明する。映画のプロデューサー菊地真紀子さん(五三)は「映画をつくるという共通の目標や過程のもと、仲間が広がり、地域を良くしていけたら」とまじりこみへの効果を期待する。上映会主催者を募り、全国展開を予定している。

十九日に羽田空港国際線旅客ターミナルビル4階「TIAT SKY HALL」で試写会を行うほか、七月一―八日に大田区東蒲田二の「キネマフューチャーセンター」でロードショー。事前予約や問い合わせは「未来シャッター」ネットワークプロジェクト事務局(03(5667)3)5662、メールwupfilm@gmail.comへ。

社会部東京ニューステスク  
 〒100-8505  
 東京都千代田区  
 内幸町2-1-4  
 電話 03-6910-2260  
 FAX 03-3595-6917  
 mail:shakai@tokyo-np.co.jp  
 したまち支局  
 電話 03-3844-2215  
 FAX 03-5827-7470  
 立川支局  
 電話 042-524-0061  
 FAX 042-524-0063  
 武蔵野 0422-43-2134  
 八王子 042-656-2313  
 町田 042-727-5451